

松本議員

その他の質問
 農作物の獣害対策について
 市内への移住推進について

平泉寺地区の整備計画について

問 平泉寺ガイダンス施設のオープンが24年の観光シーズン終了後の予定となっているが、もう少し早められないか。また今後の平泉寺地区の整備に関しては、府内各課で考へるばかりでなく白山神社宮司、地区住民、若者、大学生などを交えた協議会を作り、一体的で無駄のない整備をすべきと考える。

答 平泉寺ガイダンス施設については、愛称が白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」に決定した。そのオープン時期については、11月にしたいとの考え方を示していたが、1日も早い開館へ向けて10月中旬のオープンを目指して取り組んでいきたい。

平泉寺の整備について、今後は地域住民や若者、大学生などの意見を伺いながら、まほろばを一つの契機としたさらなる活性化に向けて検討していきたい。

勝山米のブランド化について



新体育館建設用地について

問 中学校再編に関する1校案と2校案の決定は勝山市がすると理解するがそれでよいか。また、市の方針では来年度いっぱい1校か2校かの決定をするということだが、そこへ至るまでのスケジュールはどうなっているか。特に地元との対話はどのように進められるのか伺う。

答 赤とんぼ米と新たにネーミングすることについて調査したところ、すでにその名前の米が存在することが判明すると共に、かなり以前に商標登録が行われていた。

答 市長となんでも語ろう会や地元説明会と並行して、各地権者の方から昭和町2丁目に新体育館を建設すること及び各地権者の方の所有・管理する土地において、建設計画に伴う測量・調査の実施に関する同意をいただいた。

答 地元買収単価については、今後機栽培に取り組まれている方々に夫が必要であるが、一例として有機栽培に取り組まれている方々に対し、かつやま逸品開発・販路開拓事業の活用を働きかけていく。

には非常に貴重な風景となつているようである。勝山米を「ブランド」として価値を高めていくとすれば、この事実を使わない手はない。消費者にクリーンな勝山を印象付けきつかけとなり、農薬を使わない農業の推進は人々の健康を守り川の浄化にもつながると考へる。

問 建設用地の確保について、どの程度地権者のご理解が得られているか。また、この取得にあたっては適正な価格で取得することが望まれる。所見を伺う。

答 市長となんでも語ろう会や地元説明会と並行して、各地権者の方から昭和町2丁目に新体育館を建設すること及び各地権者の方の所有・管理する土地において、建設計画に伴う測量・調査の実施に関する同意をいただいた。

答 地元買収単価については、今後適正な価格で取得するためには不動産鑑定等の資料に基づき、土地所有者の方の理解を得ていく。

山内議員



答 中学校の再編について、最終的には市がその方針を決定することとなる。しかし、決定までには、保護者や地元の方々への説明と意見交換をじつかりを行い、市議会の意見を十分に聞きながら進めていただきたい。再編方針決定のスケジュールについて、今年度は中学校区ごとに小中学校のPTA役員の方々との勉強会を開催し、1校再編と2校再編の比較検討を行ながり、議論を深めていく予定。

答 校区別のPTA検討委員会においては、教育委員会としても必要な資料や情報を積極的に提供しながら、お互いに十分議論を深められるよう努力していく。